

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 (2019年度卒業)

脇元 美稀さん

川崎医科大学総合医療センター 患者診療支援センター医療相談室
医療ソーシャルワーカー



被災地や医療現場の実習で成長

患者や家族を社会福祉の立場からサポートする医療ソーシャルワーカーの仕事に興味があり、医療福祉科を選びました。大学では、3年次に約1カ月間、社会福祉協議会で実習をしました。西日本豪雨のあった2018年で、倉敷市真備町地区でボランティアセンターの運営に携わり、家屋の掃除や瓦礫の片付け、また被災者の思いを聞くなどの経験を通じてコミュニケーションの取り方も学びました。4年次の実習では川崎医科大学附属病院で患者さんの面談に同席し、現場で生の声を聞く貴重な経験をしました。就

職活動で悩んでいる際には、大学の先生方をはじめ関係部署からの心強いアドバイスもいただきました。現在は川崎医科大学総合医療センターに勤め、患者診療支援センターの医療相談室で患者さんからの相談



在学時、ゼミの病院見学で医療ソーシャルワーカーから業務について聞く脇元さん(左端)

患者や家族の思いに寄り添う

にに応じています。相談内容は療養生活での困りごと、医療福祉制度や医療費のことなどさまざま。医師や看護師を含む多職種と連携し、患者さんの不安や悩みを解決するお手伝いをしています。担当病棟では終末期の患者さんも多く、自宅での療養を提案し、後にご家族から感謝の言葉をいただいたこともあり、やりがいを感じました。今後も患者さんやご家族の思いに寄り添える医療ソーシャルワーカーとして経験を積んでいきたいです。



患者さんからの相談を受ける脇元さん

〒701-0193
倉敷市松島288
川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464-1064



vol. ③ 活躍する卒業生

岡山県内の大学・短大の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの最後は、社会で活躍する卒業生が登場します。その大学・短大を選んだ理由や学んだこと、学生生活で印象に残っていることなどに加え、学生時代の学びを現在の業務にどう生かしているか、仕事のやりがい、将来の夢などについて聞きました。